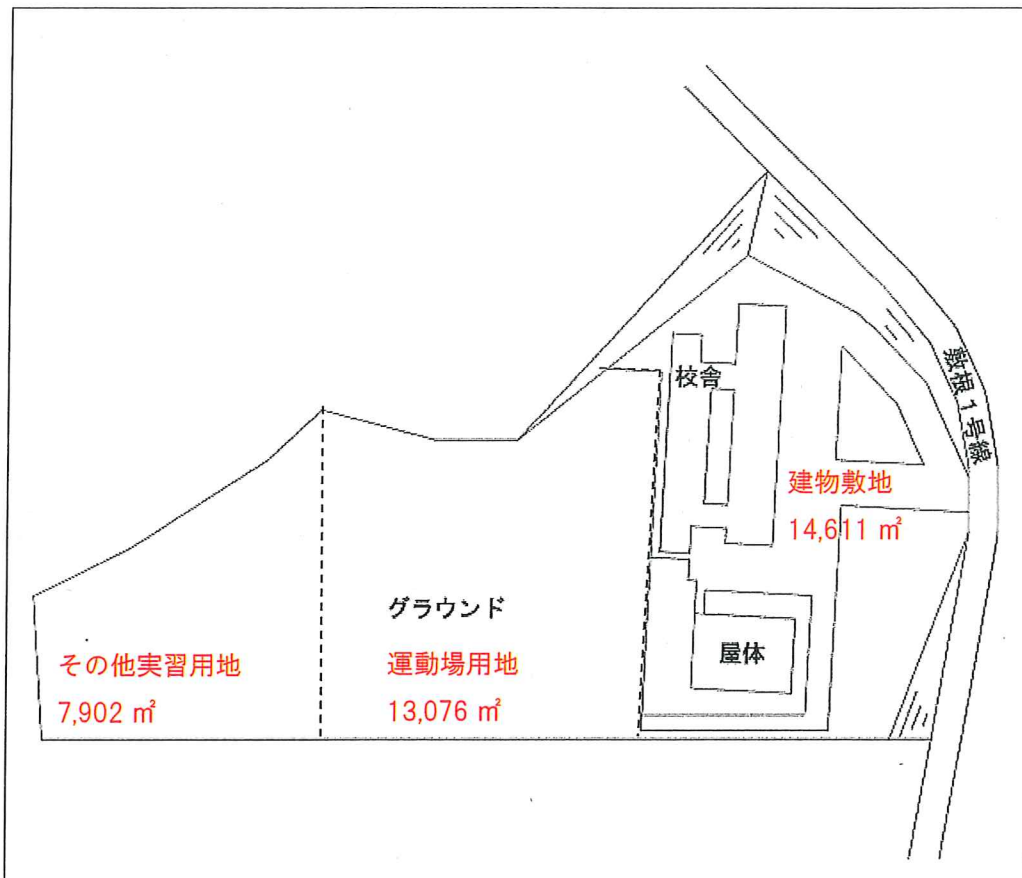


1 中学校の現況について

(1) 下田中学校の現況



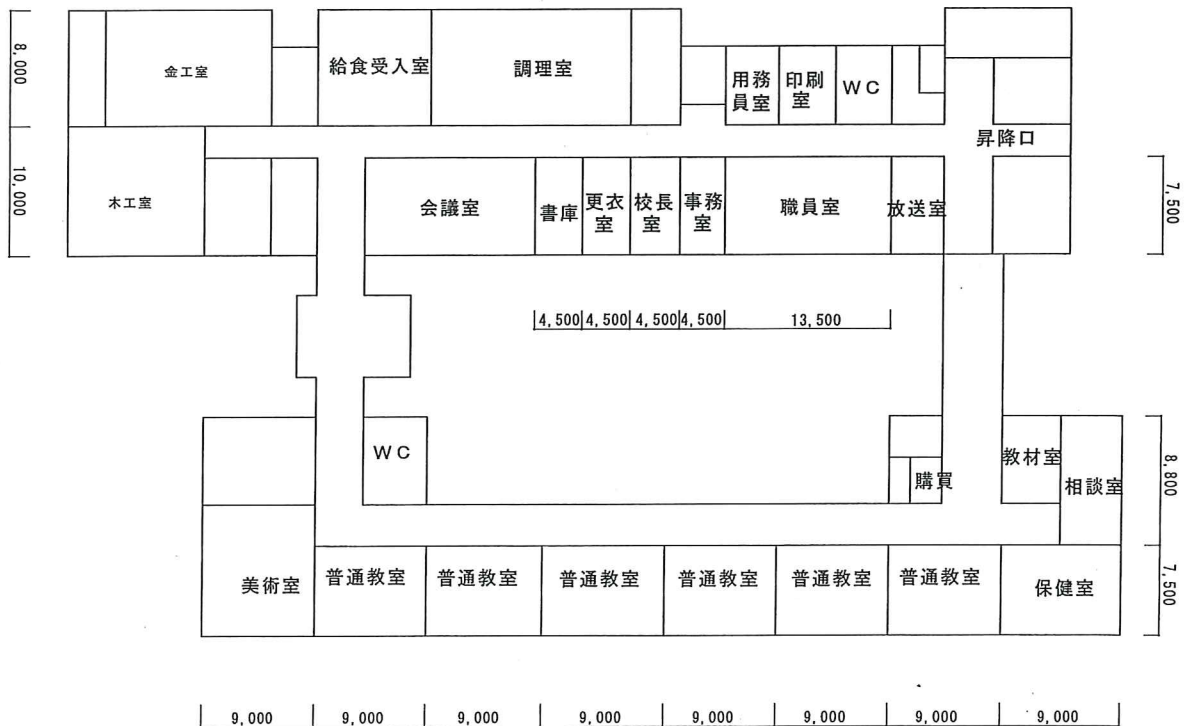
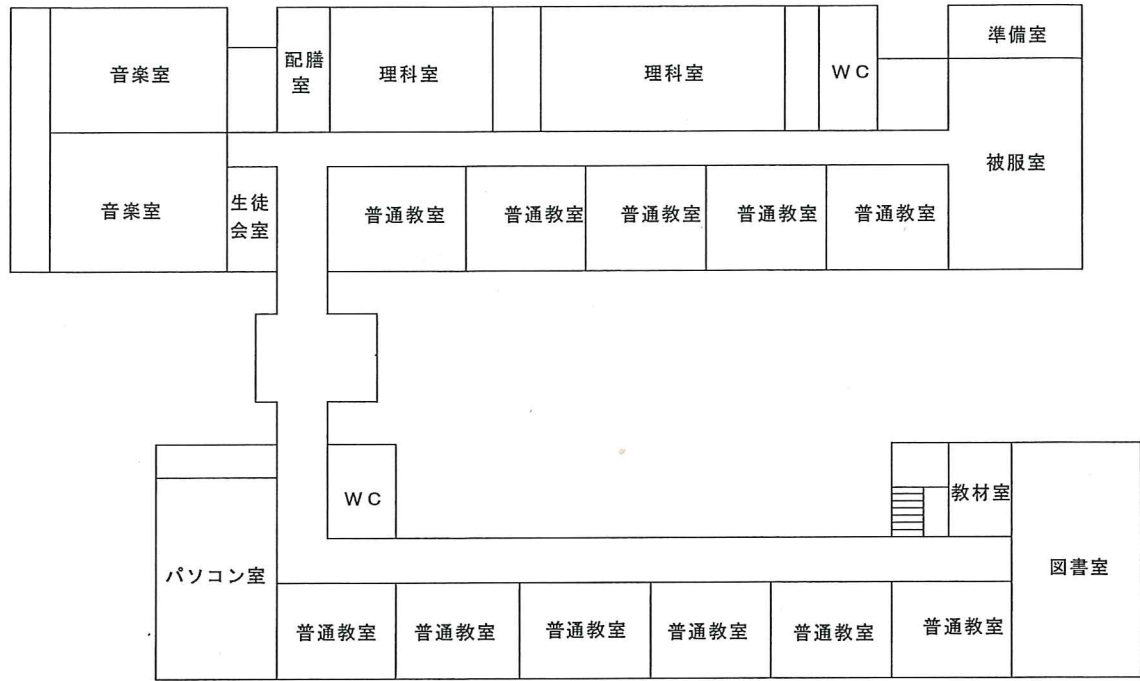
土地 ( $m^2$ )		建物敷地	運動場用地	その他用地	計
	市保有	14,611	13,076	7,902	35,589
	借地	0	0	0	0
	計	14,611	13,076	7,902	35,589

建物 ( $m^2$ )	区分	建築年(西暦)	構造	階数	延床面積	耐震ランク	経過年数
	校舎	1984	鉄筋コンクリート造	2	5,098	I b	32
	体育館	1985	鉄筋コンクリート造	2	1,128	I b	31
	倉庫、体育器具庫等の小規模な建物は含まない。						

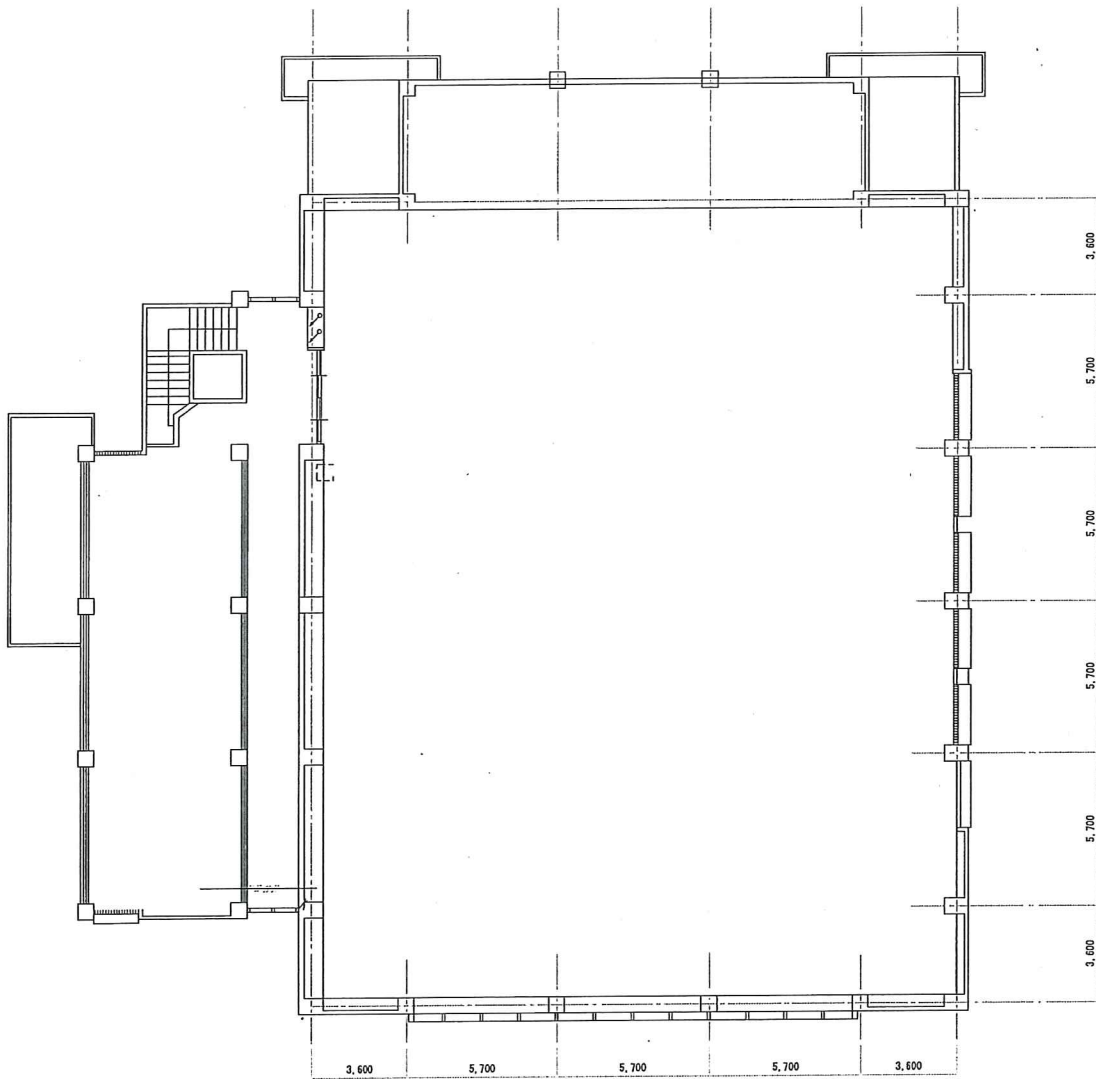
周辺環境としては、北側と南側を山に挟まれ、東側に敷根公園、西側にこども園及び住宅地と隣接している。交通面では敷地北側の市道敷根1号線に面し、片側1車線道路で歩道整備もされている。

現在までの主な改修工事

- ・1994年 コンピューター室設置工事
- ・2008年 体育館屋上防水改修工事
- ・2015年 公共下水道接続工事
- ・2015年 体育館照明LED化
- ・2016年 校舎北側屋上防水改修工事
- ・2016年 体育館南側に太陽光発電設備設置工事

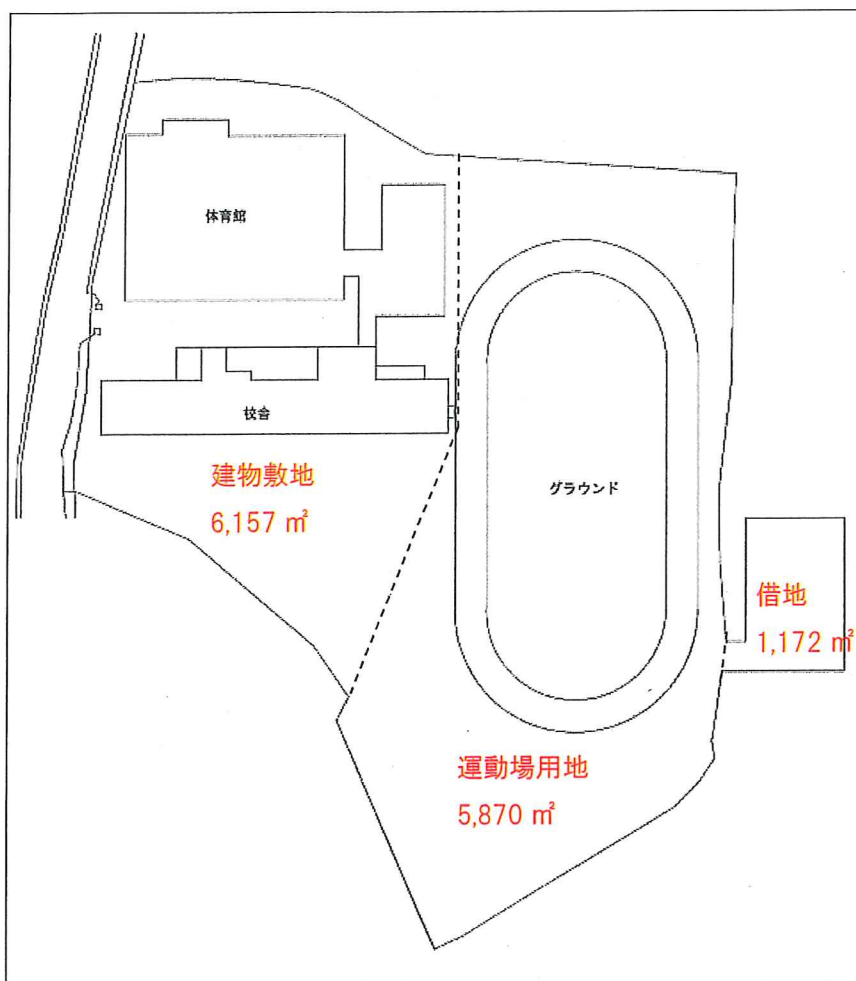


下田中学校



体育館

(2) 稲生沢中学校の現況



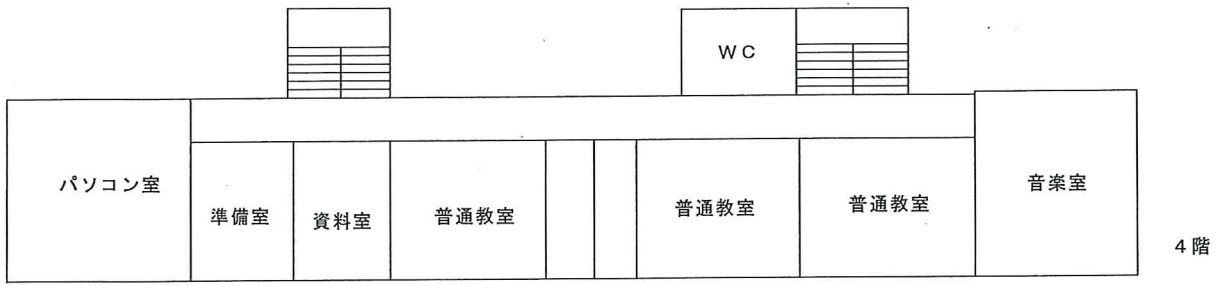
土地 (m <sup>2</sup> )	建物敷地		運動場用地	その他用地	計
	市保有	6,157	5,870	0	12,027
	借地	0	0	1,172	1,172
計	6,157	5,870	1,172	13,199	

建物 (m <sup>2</sup> )	区分	建築年(西暦)	構造	階数	延床面積	耐震ランク	経過年数
	校舎	1982	鉄筋コンクリート造	4	2,934	I b	34
	体育館	1986	鉄筋コンクリート造	2	1,159	I b	30
	技術棟	2005	鉄骨造	1	230	I a	11
倉庫、体育器具庫等の小規模な建物は含まない。							

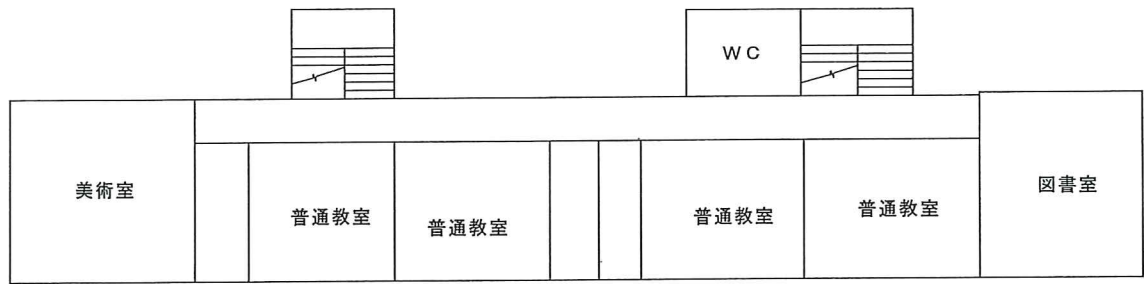
周辺環境としては、北側と南側は住宅地、東側に国道 414 号、西側に市道、住宅地と隣接している。交通面では敷地西側の市道立野お吉ヶ淵線に面し、一部歩道整備されている。

現在までの主な改修工事

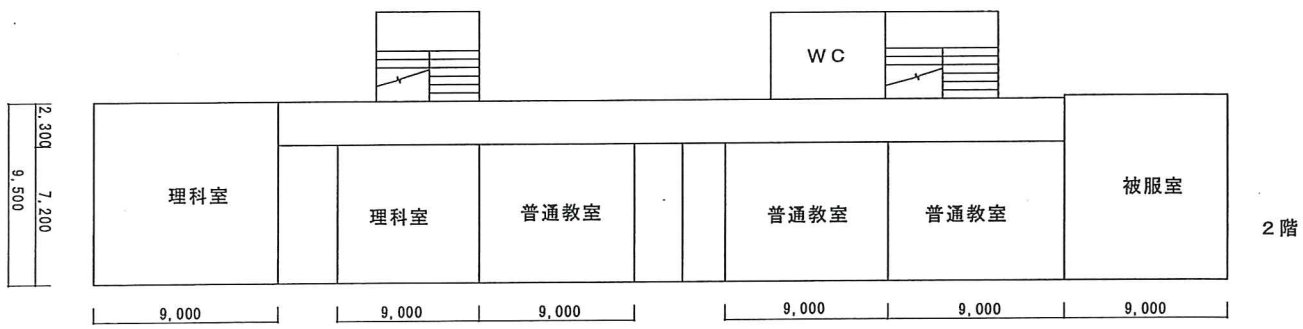
- ・ 1994 年 コンピューター室設置工事
- ・ 2010 年 体育館屋上防水改修工事
- ・ 2016 年 体育館照明 LED 化



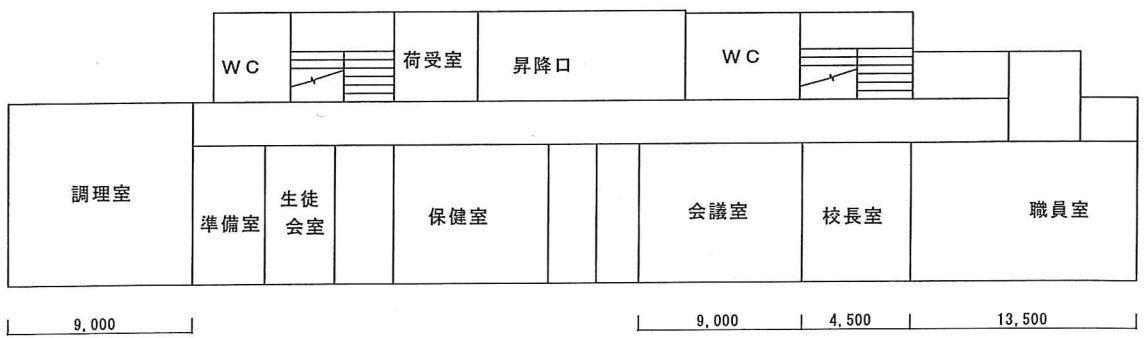
4階



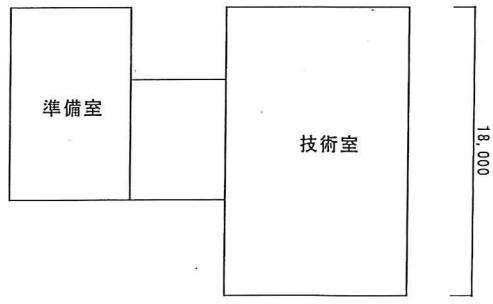
3階



2階



1階



稲生沢中学校

27,000

観覧スペース

ステージ

34,000

体育館

## 2 2中学校の比較

### (1) 中学校設置基準に基づく校舎面積及び運動場面積について

中学校設置基準では、全校生徒数に基づき、校舎面積及び運動場面積について基準を設けており、以下のとおりになります。

#### ① 想定生徒数

新中学校開校を平成 33 年度からとし、生徒数を以下の推計表から 450 人と仮定。

年 度	1 年	2 年	3 年	生徒数合計
H33	152 人	143 人	152 人	431 人
H34	143 人	152 人	139 人	434 人
H35	134 人	143 人	152 人	429 人
H36	143 人	134 人	143 人	420 人
H37	122 人	143 人	134 人	399 人
H38	131 人	122 人	143 人	396 人
H39	112 人	131 人	122 人	365 人

#### ② 校舎面積

$$\text{【算定式】：} 600 + 6 \times (\text{生徒数} - 40) \quad 600 + 6 \times (450 - 40) = \underline{3,060 \text{ m}^2}$$

#### ③ 運動場面積

$$\text{【算定式】：} 3600 + 10 \times (\text{生徒数} - 240) \quad 3600 + 10 \times (450 - 240) = \underline{5,700 \text{ m}^2}$$

#### ④ 市立 2 中学校の状況

市立 2 中学校の既存の校舎及び運動場の面積で考慮した場合、校舎及び運動場ともに中学校設置基準の面積を有しております。

	稲生沢中学校	下田中学校
校舎延床面積	3,164 m <sup>2</sup>	5,098 m <sup>2</sup>
運動場面積	5,870 m <sup>2</sup>	13,076 m <sup>2</sup>
H28 生徒数	122 人	218 人

### (2) 既存施設の活用について

2 校の中学校用地のうち、下田中学校はすべて市有地であり、稲生沢中学校は一部借地となっております。

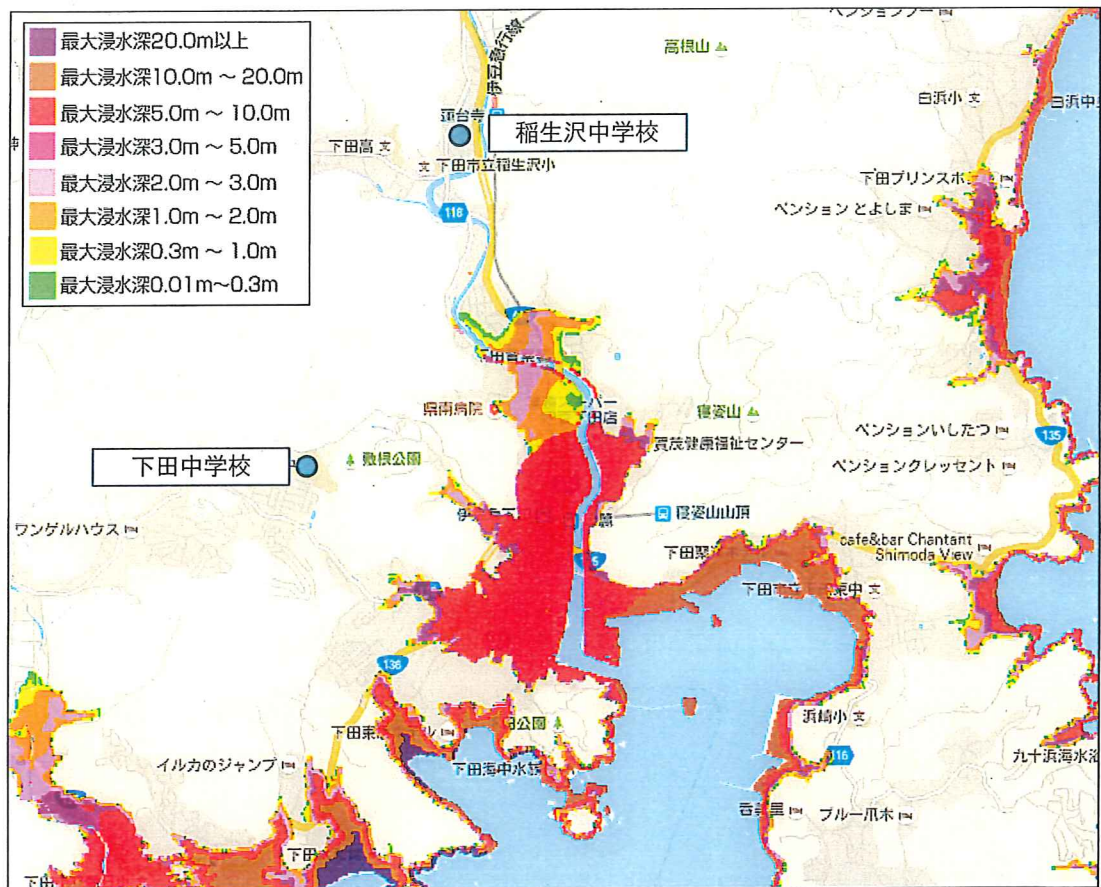
	稲生沢中学校	下田中学校
市有地	一部借地	全部

(3) 防災面での安全性について

候補地の防災面での安全性を考慮する上で、津波浸水想定区域外及び土砂災害警戒区域外であることが重要だと考えられます。2校とも中学校が津波浸水想定区域外ですが、土砂災害警戒区域については、稲生沢中学校及び下田中学校ともに一部が警戒区域に含まれております。

	稲生沢中学校	下田中学校
津波浸水想定区域	区域外	区域外
土砂災害警戒区域	一部区域	一部区域

① 津波浸水想定区域図（静岡県第4次津波被害想定津波浸水〔レベル2〕）

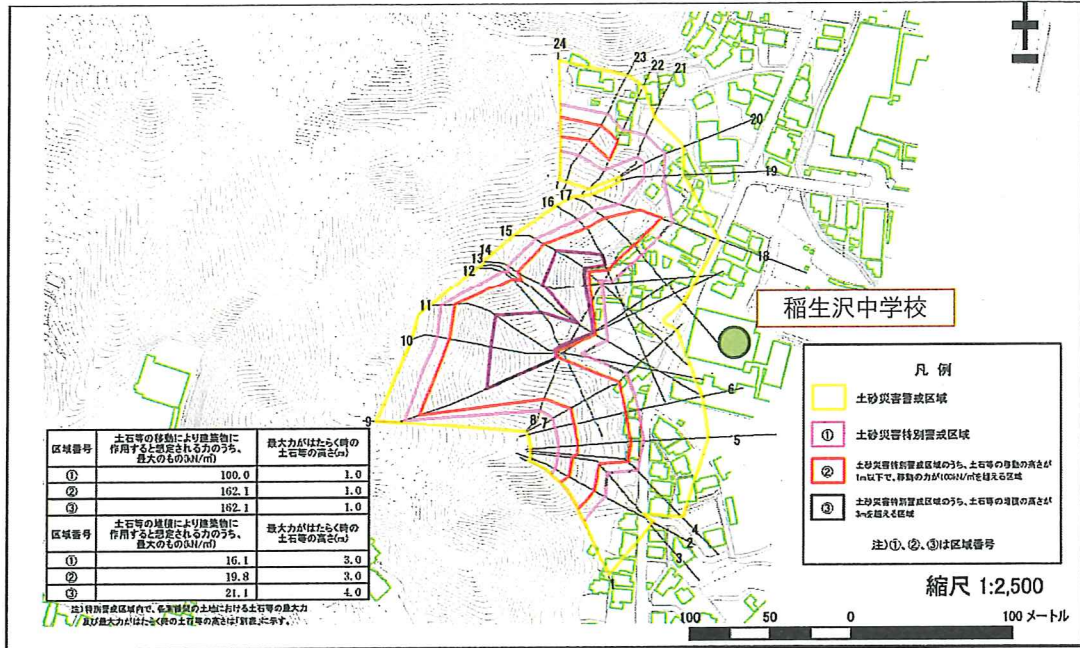


資料：静岡県統合基盤地理情報システム



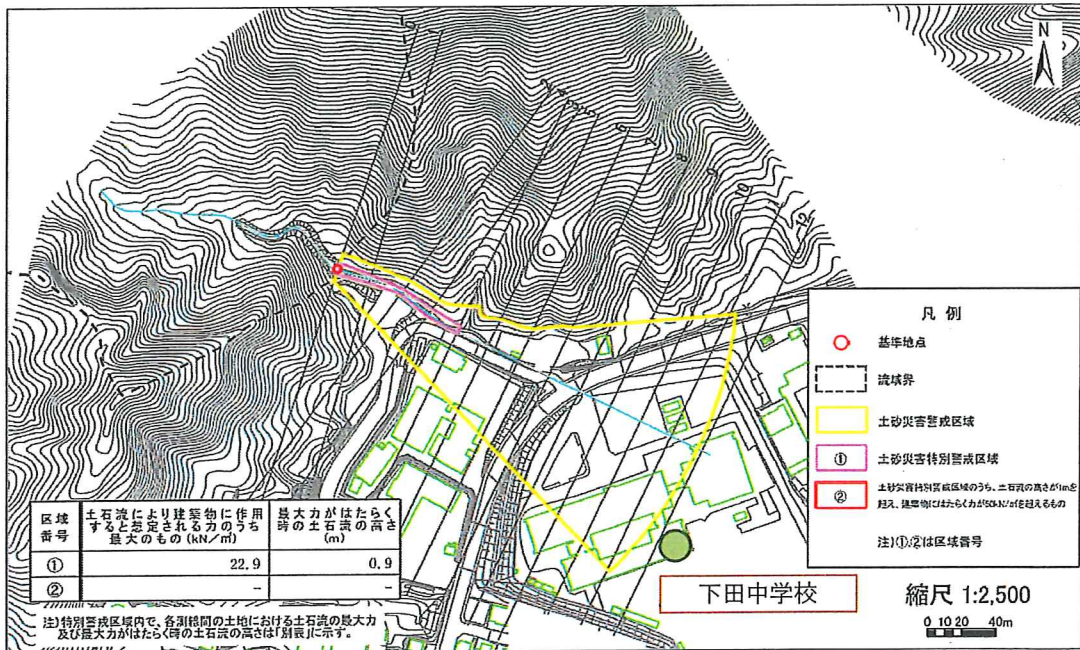
② 土砂災害警戒区域図

ア 稲生沢中学校



資料：静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課（区域名：金谷山）

イ 下田中学校



資料：静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課（区域名：敷根西沢）

#### (4) 通学について

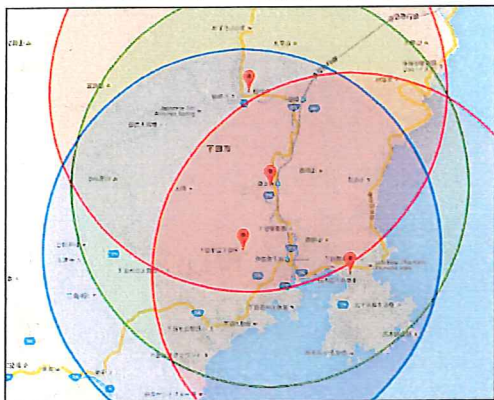
市内全域からの通学になるため、通学距離、通学時間について、国の基準を参考としながら、一部の生徒に負担をかけないように慎重に検討することが重要です。

##### ① 通学距離について

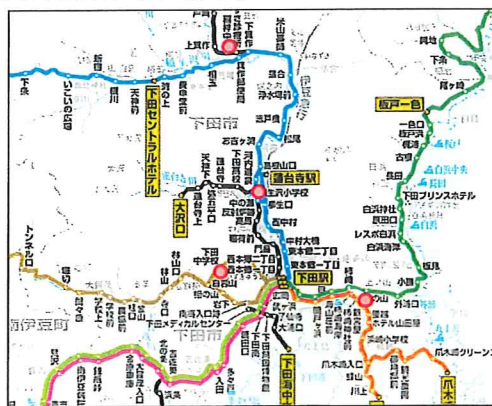
義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第4条第1項第2号において、中学校でおおむね6km以内という通学距離基準を定めています。

##### ② 通学時間について

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（平成27年1月27日文科省）において、通学時間は「おおむね1時間以内」を一応の目安とした上で、各市町村において、地域の実情や児童生徒の実態に応じて1時間以上や1時間以内に設定することの適否を含めた判断を行うのが適当であると示しています。



4中学校から半径6km圏内図



バス路線図（出典：東海自動車ホームページ）

##### ③ 市立4中学校の比較

国の基準を参考に市立4中学校で以下の条件のもと、比較しました。

###### 【市立4中学校比較条件】

- 1 通学は公共交通機関（バス路線）を利用することを想定（自家用車送迎等による候補地近隣住民の環境配慮）。また、市内全域からの通学を考慮し、中心部から最も遠い停留所を以下のとおり選出（下田地区は下田駅を選出）。  
稲梓地区：加増野、北の沢                      稻生沢地区：大沢口  
白浜地区：板戸一色                              浜崎地区：須崎海岸、爪木崎  
朝日地区：田牛、銭瓶峠、堀切              下田地区：下田駅
- 2 選出した停留所と市立4中学校付近停留所の距離及びバス乗車時間を調査（中学校付近停留所と中学校間の徒歩時間を含む）。但し、下田駅などでの乗換時間は考慮しない。
- 3 自宅から停留所までの距離及び時間を考慮しない（市立4中学校の比較は、上記1及び2で検討できるため）。
- 4 バス運行ダイヤについては、既存ダイヤを考慮しない（統合となった際、ダイヤ設定については交通事業者と要交渉）。

ア 稲生沢中学校（停留所：河内温泉）

地区	停留所	距離	時間（内徒歩時間なし）
稲梓地区	加増野	10.2 km	18 分
	北の沢	8.4 km	17 分
稲生沢地区	大沢口	1.8 km	6 分
白浜地区	板戸一色	10.4 km	23 分
浜崎地区	須崎海岸	7.1 km	21 分
	爪木崎	8.6 km	31 分
朝日地区	田牛	9.5 km	26 分
	銭瓶峠	8.3 km	21 分
	堀切	8.5 km	23 分
下田地区	下田駅	2.8 km	8 分
※参考 平均		7.56 km	19.4 分
距離区分		時間区分	
5 km未満	2 か所	10 分未満	2 か所
5 km以上 10 km未満	6 か所	10 分以上 20 分未満	2 か所
10 km以上	2 か所	20 分以上 30 分未満	5 か所
—	—	30 分以上 40 分未満	1 か所
—	—	40 分以上	0 か所

稲生沢中学校を新中学校候補地とした場合、距離及び時間で最も遠かったのは、板戸一色停留所 10.4 km、爪木崎停留所 31 分、平均は 7.56 km、19.4 分でした。区分ごとに整理すると距離では 5 km 以上 10 km 未満が 6 か所、時間では 20 分以上 30 分未満が 5 か所で最も多い結果となりました。

イ 下田中学校（停留所：下田中学校）

地区	停留所	距離	時間（内徒歩時間なし）
稲梓地区	加増野	14.8 km	30 分
	北の沢	13.0 km	31 分
稲生沢地区	大沢口	6.0 km	17 分
白浜地区	板戸一色	9.5 km	20 分
浜崎地区	須崎海岸	6.3 km	18 分
	爪木崎	7.7 km	28 分
朝日地区	田牛	7.6 km	23 分
	銭瓶峠	6.4 km	18 分
	堀切	3.9 km	10 分
下田地区	下田駅	1.8 km	5 分
※参考 平均		7.7 km	20.0 分
距離区分		時間区分	
5 km未満	2 か所	10 分未満	1 か所
5 km以上 10 km未満	6 か所	10 分以上 20 分未満	4 か所
10 km以上	2 か所	20 分以上 30 分未満	3 か所
—	—	30 分以上 40 分未満	2 か所
—	—	40 分以上	0 か所

下田中学校を新中学校候補地とした場合、距離及び時間で最も遠かったのは、加増野停留所 14.8 km、北の沢停留所 31 分、平均は 7.7 km、20.0 分でした。区分ごとに整理すると距離では 5 km 以上 10 km 未満が 6 か所、時間では 10 分以上 20 分未満が 4 か所で最も多い結果となりました。

### 3 新中学校候補地について

これまでの選出条件を比較し、以下表のとおり取りまとめた結果、「稲生沢中学校」及び「下田中学校」を新中学校候補地とするのが望ましいという結論に至りました。

選出条件	稲生沢中学校	下田中学校
① 中学校設置基準	◎	◎
② 市有地	○	◎
③ 防災面での安全性	○	○
④ 通学について	◎	○
合計	10	10

※◎：3点、○：2点、△：1点にて加算し、合計点を算出（12点満点）